

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 58 回会合

開催日時： 2025 年 1 月 6 日(月)17:00-18:34

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

姓	名	ご所属	姓	名	ご所属
飯田	陽一	総務省	Suga	Yuji	Internet Initiative Japan Inc.
石田	壮一	NTT-BS	橋川	和利	ケーブルテレビ徳島株式会社
Imamura	Kazuki	独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）	堀田	博文	JPRS
大内	真	国際文化会館	前村	昌紀	JPNIC
荻原	実那	総務省	松平	直樹	網手順技研
加藤	幹之	MK Next	宮本	知典	総務省
河内	淳子	CFIEC	山崎	信	JPNIC
実積	寿也	中央大学			

参加者数 15 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成：山崎 信

資料：

1. [IGF 2024 における NRI 関係セッション](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認

- 日本政府からの報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- NRI に関する状況報告

- IGF 2024 参加者からの感想共有
- 勉強会に関して
- 今後のスケジュール
- 本チームの今後

2. 前回議論の振り返り

- 第 57 回会合の概要：[第 57 回アジェンダ案+議事録案](#)

3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム todo 一覧表](#) を参照のこと

4. 日本政府からの報告 [10 分]

- 飯田氏より、以下の通り報告があった。
 - 公式には 1 万 1 千人の参加があった
 - 京都会議に比べると市民社会からの参加者が少なかった
 - 総務審議官がハイレベルセッションとメインセッションに参加
 - マルチステークホルダー主義の強調
 - GDC フォローアップと WSIS+20 の議論において IGF が重要であることを引き続き訴えていこうと強調
 - オープンフォーラムを 2 つ開催
 - インターネット経済中の重要なインフラとしての AI
 - WSIS+20 に向けてどう協力していくか：産業界、市民社会、アフリカから 2 名登壇
 - 京都以来ユースと付き合いができた、日本のユースとも連携していきたい
 - ホスト国サウジアラビアはオープンで頑張ってくれた、今後も協力していきたい
 - サウジ、ブラジル、インドあたりに積極的に働きかけたい、仲間にしていこうと言った議論を行った
 - コミュニティ横断的にマルチステークホルダーで議論をしていくよう国連にも促し続けたい
 - 国連事務総長技術特使室(UN Office of the Secretary-General's Envoy on Technology, |UN OSET)が改組され、国連デジタル＆新興技術室(UN Office for Digital and Emerging Technologies, UN ODET)となった。¹
 - 全体が協力的になるような議論ができて、未来志向の結果が出せる方向に進むように、産学官市民社会ユースが協力していけるように、日本のコミュニティを強くしていけるようにできればと思う。
- IGF 2025 が 6 月に開催、7 月に WSIS+20 Forum が開催と、色々なことが前倒しになっているが、今後の動きは？
 - 今のところ、国連 IGF 事務局あるいは国連本部(ニューヨーク)からもまだ具体的な動きはない。MAG2025 メンバーに関してはまだ結論が出ていないと聞いている。する情報

¹ <https://www.un.org/techenvoy/content/press-release-new-un-office-digital-and-emerging-technologies>

はまだ聞こえてこない。リヤドにて、2025 年のホスト国ノルウェーから日本に成功裏に終わった京都会議についておしえてもらいたい旨接触があったので、密度濃く対応したい。

5. IGF MAG からの報告 [10 分]

- 河内氏より、以下の通り報告があった。
 - IGF 2024 会期中に MAG 会議が開催された
 - 自分は 3 年務めたこともあり、今期で退任
 - 2025 年の MAG メンバーについては、事務局が内々にリストを作っているようだが、国連事務総長の承認がないと公表できず、2025 年初めに決まる模様と事務局から報告があったが、現時点ではまだ連絡はないらしい。
 - MAG 卒業生は MAG 会議に出席して傍聴することはできるが、決議には加われない

6. NRI に関する報告 [5 分]

- (山崎より次の通り報告) 今のところ特に IGF 事務局から 2025 年に関する案内は来ておらず、会議も開催されていない。NRI メーリングリストに送られてきたアンケート 2 つは、Web で公開されているもの。
 - [IGF 2024 振り返りアンケート](#)
 - [IGF 2025 テーマに関するアンケート](#)
 - いずれも 1 月 12 日締め切り

7. その他会議に関する報告／イベント等の情報共有 [5 分]

- 加藤氏より、7 月 7 日～11 日に開催予定の [WSIS+20 ハイレベルイベント](#) (2023 年までは [WSIS フォーラム](#) と呼ばれていたもの) に関して [意見募集](#) (3/14 期限) がある旨共有された。
- 山崎より、ITU 理事会 WSIS および SDGs 作業部会で [意見募集](#) が行われている (期限 1/31) 旨共有した。
- 飯田氏より、グローバルデジタルコンパクト (GDC) について、今後の進め方、方法論などの具体的なことを 3 月位に決めることになっているので、その前に議論するプロセスがありそうな旨共有があった。
- 前村氏より、ICANN について報告があった。具体的には、新事務総長リンドクヴィスト氏の着任、GDC プロセスに関する見解を公開していること、IGF2024 で国際化ドメイン名 (IDN) ・ユニバーサルアクセプタンス (UA) に関するセッションが開かれたことである。

8. IGF 2024 に関する報告

- 山崎より資料 1 に基づき NRI 関連セッションについて報告
- 河内氏より Day 0 に CFIEC が主催したマルチステークホルダーによる参加に関するセッションについて報告
 - マルチステークホルダーモデルはグループや場合によって違ったものになり、すべてが同一のモデルになる訳では全体にない、と話者から発表があった
 - 単に複数のステークホルダーに参加してもらっていただければそれでよい、という偽 MSH は良くない

- 良心に基づきマルチステークホルダーでやっていかなければならない
- 加藤氏より次の点についてカバーする報告があった。
 - IGF のマンデート満了、WSIS+20 で今後について議論、となっているので今後どうなるかについて注目してセッションを追ってみた。
 - サウジアラビア、EU、英国など様々な国の代表が IGF を継続すべきだ、と発言し、やめるべきといった人はいなかったが、発言者間で温度差があったことを痛感
 - WSIS 開催時のインターネット資源管理に関するコンセンサスを受けて IGF が開催され、その後延長された。IGF 継続は参加者の大勢だと思う。IGF を恒久的に開催すべき、という意見もあった。リーダーシップパネル議長ヴィントサーフ氏は、今の IGF 事務局はまだ貧弱で予算も十分ではないので、3 million USD の予算を毎年確保する、と言っていた。
 - WSIS で決めたこと(ICANN による資源管理体制の当面の継続、インターネットの様々な問題について議論する場として IGF を作る)が本当に実施されたのか、今のままでよいのか、について見直しが今回あるという建付け
 - IGF の見直し、および GDC の検討で色々な国の間で意見の違いがあった。G77 は明らかに ICANN や IGF を弱め、国連などの場で政府が権限を持って決めるべきという意見を持っていて、そういった議論が常にある、と西側某国政府の人は言っていた。
 - 今回の IGF では世界の 3 分の 1 がインターネットに繋がっていない、南北格差を強調する意見が多かった。AI が出てきたことでさらに格差が生まれると指摘する意見が非常に多かった。
 - インターネットの問題が国際政治の中で重要な位置づけがあり、色々な国がそういったことを考えて IGF の場をどうしていくかを議論していることを感じた。。
 - 6 月に IGF 2025 があり、7 月には WSIS+20 のヒアリングがあるが、以上のような背景から、日本も IGF は重要だ、こういうところがよい、と意見・発信していく必要がある。そうしないと国連、政府主体となり MSH でなくなってしまう可能性が十分ある。
 - いろんな人が NRI が重要とっており、国際的な議論を持ち帰り政府や様々な関係者と話をすることで、国際的な制度のハーモナイゼーションができてくるという大きな役割があり、NRI をもっと強調すべきと思う。その意味で活発化チームの活動は非常に意味があり、国際的に情報発信をすることが重要。
 - 20 年前は先進国中心だったが、今や世界中の人がインターネットを使っており、AI に関しては恩恵も被害も受ける時代で、どう調整するかを議論していくことが非常に重要。

9. 勉強会に関して

- 活発化チームの 2 時間のうち 1 時間を IG に関する勉強を行う場としてはどうかという提案が前回河内さんからあった。
- JICA 山中氏にデジタル公共財、DPT を含めた、をお話しいただくべく調整中

10. 今後のスケジュール[5 分]

- APrIGF 2025 は 10 月？にネパール開催予定

- 山崎案：6 月前に IGF 2025 に向けた会を開催し、秋に通常フォーマットでやる
- 堀田案：6 月直後(7 月中旬)に IGF 2025 報告会的なものを開催し、秋に通常フォーマットでやる
- 折衷案：6 月 IGF の前に軽量級意見をまとめる会を開催し、WSIS+20 Forum 後に IGF 報告会を開催し、秋に通常フォーマットでやる【この案でいくこととする】
- 前回 57 回会合での内容
 - IGF 2025 の前に国内 IGF を開催するかどうか
 - NRI として、年に 1 回は必ず国内会議を開催する必要があるが、それが(グローバル)IGF の前か後かというのは決まっていない。
 - 次回 1 月のチーム会合で決めることとする

11. 本チームの今後[10 分]

- 前村氏より、「努力しているが、報告できるような前回からの進捗はない」旨報告があった。

12. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5 分]

- 特になし

13. 次回打合せ予定[5 分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - 日本政府からの報告
 - MAG 会合報告
 - NRI 会合報告
 - 勉強会について
- 次回打合会の開催時期
 - 次回開催候補は 1/27(月)、2/10(月)、2/12(水)のいずれかとして→これらを候補として、山中氏の都合を伺って日程を決めることとする
 - 17 時からチーム会合、18 時から勉強会、チーム会合が 18 時までに終わらなければ勉強会の後に続きをやる

14. その他

- 特になし

以上